

# 未来への協働

2022年9月14日(水)  
第349号

発行所 未来への協働  
ホームページ  
https://kyodomirai.org  
〒577-0023  
大阪府東大阪市荒本2丁目14-5  
電話/FAX  
(06) 4306 - 3512  
郵便振替  
00940-8-213061  
Eメール  
mirai\_newsroom@yahoo.co.jp  
●発行人 山本 康

●第2・4水曜日発行  
●200円(本体182円)  
●定期購読 購読料(送料別)  
1月 400円(送料188円)  
半年 2,400円(送料1,128円)  
1年 4,800円(送料2,256円)

## 今号の主な内容

- 2面 統一教会 自民に浸透半世紀
- 3面 連載 女たちの「日の丸焼き捨て事件」
- 4面 格差拡大に加担する連合
- 5面 孤独に悩む男たち
- 6面 投稿 軍備を増やそうという人よ

## 紙面へのご意見、ご感想を

上記発行所までお寄せください。FAXでも送れます(電話番号と同じ)。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。

## 扇状地

「子どもは戦争のじゃま者だ!」35年前、初めて訪れた沖縄・摩文仁の県立平和祈念資料館には「証言の部屋」があり、生き残った人々の証言が何冊もの大きな本となっていて、自分で頁を繰りながら読むことができた。飛び込んできたのがこの言葉。住民が避難しているガマに押し入った日本兵が「子どもが泣くと米軍に見つかる」と銃剣を突きつけながら脅し、実際に何人も殺されたという母親の証言。そう、「戦争」の本質はこの言葉につきる。「軍隊は住民を守らない」のだ。今も続く戦争も同じ。「反日過激」という非難も根強くあったが展示は続いている。「無念の思いで死んでいった人々を代弁できるものは、体験した住民の証言しかない。(中略)歴史の真実そのものだから」(資料館の案内)という沖縄の人々の強い思いが改変を許さないで来たのだろう。▼今年末から大改修に入るが、展示変更は行わないそうだ。私にとっての「沖縄」はこの言葉と切り離せない。(草)

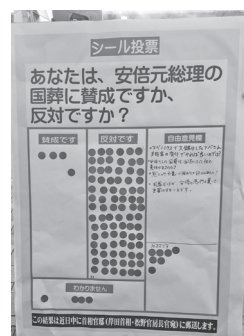
# 国葬やめろ 税金使おうな

## 費用は16億円超 各地で抗議集会、デモ

政府は国が全額負担という試算を明らかにした。安倍元首相の国葬に反対する安倍元首相の国葬。実際にはそれ以上の費用について、当初、約2億5千万円と公表していたが、9月6日になって、総額16億6千万円と菅委員会で閉会中審査が

開かれた。「統一教会と関わりの深い安倍氏が国葬にふさわしいのか」という質問に、岸田首相は従来の説明を繰り返すだけだった。こうした政府の対応に各地で怒りの声が上がっている。

9月27日の国葬に向けて、各地で抗議行動が予定されている。8月31日に国会正門前で行われた大行動には約4000人が参加。主催者は、9月27日午後2時から再び国会正門前で大行動を呼びかけている。



9月5日、兵庫の市民団体が県知事・県教育長、神戸市長・市教育長に、「弔意表明、半旗掲げ」を求めた。自治体、学校等に通知を出すべきではないと訴えた。

【神戸】国葬反対を訴える集会とデモが、8月27日、神戸市内で行われ400人が参加した。

【神戸】国葬反対を訴える集会とデモが、8月27日、神戸市内で行われ400人が参加した。

【神戸】国葬反対を訴える集会とデモが、8月27日、神戸市内で行われ400人が参加した。

【神戸】国葬反対を訴える集会とデモが、8月27日、神戸市内で行われ400人が参加した。

【神戸】国葬反対を訴える集会とデモが、8月27日、神戸市内で行われ400人が参加した。

【神戸】国葬反対を訴える集会とデモが、8月27日、神戸市内で行われ400人が参加した。

【神戸】国葬反対を訴える集会とデモが、8月27日、神戸市内で行われ400人が参加した。

## 政府方針 原発新增設に転換 電力ひっ迫理由にならない

岸田文雄首相は、8月24日、首相官邸で開いたGX(グリーン・トランス

岸田文雄首相は、8月24日、首相官邸で開いたGX(グリーン・トランス

岸田文雄首相は、8月24日、首相官邸で開いたGX(グリーン・トランス

岸田文雄首相は、8月24日、首相官邸で開いたGX(グリーン・トランス

岸田文雄首相は、8月24日、首相官邸で開いたGX(グリーン・トランス

岸田文雄首相は、8月24日、首相官邸で開いたGX(グリーン・トランス

岸田文雄首相は、8月24日、首相官邸で開いたGX(グリーン・トランス



「安倍元首相の国葬に反対!」横断幕をかかげてデモ(8月27日、神戸市・三宮)

【神戸】国葬反対を訴える集会とデモが、8月27日、神戸市内で行われ400人が参加した。



工事が中断している中国電力上関原発予定地の対岸の祝島にある看板(山口県上関町)

【神戸】国葬反対を訴える集会とデモが、8月27日、神戸市内で行われ400人が参加した。

【神戸】国葬反対を訴える集会とデモが、8月27日、神戸市内で行われ400人が参加した。

【神戸】国葬反対を訴える集会とデモが、8月27日、神戸市内で行われ400人が参加した。

【神戸】国葬反対を訴える集会とデモが、8月27日、神戸市内で行われ400人が参加した。

【神戸】国葬反対を訴える集会とデモが、8月27日、神戸市内で行われ400人が参加した。



韓国・京畿道加平郡にある統一教会の本部

# 統一教会 自民に浸透 半世紀

## 政治の圧力、空白の30年、で野放しに

安倍元首相の銃撃事件以降、統一教会と自民党の癒着に関心が高まっている。政治の圧力が生んだ「空白の30年」で統一教会による被害は野放しになった。政治家と統一教会の接近が、不法行為にお墨付きを与え、被害を拡大した。その結果起きたのが銃撃事件だった。その経緯を有田芳生さん(ジャーナリスト)が講演で詳しく語った。(8月19日、大阪市内)

### 岸信介が名誉役員

1954年に韓国で文鮮明を教祖とする世界基督教統一神霊協会が生まれた。59年には日本で統一教会を設立し、64年に東京で日本統一教会を設立。宗教団体として活動するようになった。68年、文鮮明は日本と韓国で国際勝共連合を設立。当時韓国の朴正熙独裁政権のスローガン「勝利統一」を利用した。岸信介元総理が名誉役員、名譽会長に笹川良一、日本統一教会初代会長の久保木修己が日本の国際勝共連合会長になった。

### 議員秘書として浸透

66年、世界反共連盟(WACL)を設立。73年頃に文鮮明が渡米し、ウォーターゲート事件で窮地に立っていたニクソン大統領を支援。米国の信者たちがホワイトハウス周辺でニクソン支持の集会を開き、共和党と接近する。これがトランプ政権にもつながっていった。こうした動きは、日本ではほとんど報道されなかった。

### 地下鉄サリン事件

73年には岸信介が日本の統一教会本部で講演し、同年韓国の統一教会で文鮮明と会談した。86年、統一教会は自民党との接触を再び強める。当初は女性信者の中から秘書を養成し、自民党を中心とした国会議員の公設・私設秘書として送り込んだ。

### 議員秘書として浸透

週刊文春が91年に半年かけて調査したところ、公設秘書に3人、私設秘書には5人の男性信者が見つかった。石原慎太郎に取材すると「何言ってるんだよ。50人以上はいるよ」と言っていた。女性信者については不明だ。90年3月、勝共連合の思想新聞に105人の勝共推進議員名簿が載った。安倍晋太郎、麻生太郎、渡辺美智雄、船田元中、中曾根康弘など。当時の国際勝共連合のチラシでは、これが150人まで増えたとしている。こうした流れが80年代半ばから続いていると判断すべきたらう。共同通信が実

施したアンケートでは国会議員106人の名前が上った。日本維新の会も14人が関係していた。こうした議員の公設秘書、私設秘書として統一教会が入りこんでいる。87年朝日新聞阪神支局が赤報隊を名乗る男に散弾銃で襲われ、小尻知博記者(当時29歳)が命を奪われた事件で、新右翼や統一教会関連組織も捜査対象になった。統一教会には、政治団体としての国際勝共連合以外にも非公然の軍事部隊があるとみて警視庁は捜査を続けていた。95年に地下鉄サリン事件が起きたとき、警察のターゲットは「オウム」の次は統一教会だった。ところが、統一教会はターゲットから外された。政治の圧力だ。オウム真理教事件以降の30年間、統一教会に関する報道はほとんどない。ノーマークの中で、被害が広がっていった。今ほど統一教会について、また、統一教会と政治の関係について関心が高まっているときはない。空白の30年が再び訪れないようにしなければならぬ。(堀ちえこ)

## 「キッズ・ゲルニカ」など展示

### 18回目のピースフェスタ明石

8月、夏の明石の恒例、今年で18回目となったピースフェスタ明石が「平和・いのち・子ども」をテーマに開かれた。会場はJR明石駅前のアスピア明石(兵庫県明石市)。8月10日から12日間。第1部は「平和を考える」ウォールギャラ



ライナの平和を願う市内の幼児から小学生まで描いた「原爆の絵」展を観に行きました(8月27日)。ギャラリーに入り、最初の1枚目の絵を見て圧倒されました。原爆投下のその場にいるような臨場感のある絵だったからです。これが、原爆を体験していない高校生が被爆者から聞き取りをして描いた絵なのかと

若者たちの行動に共感 20日午後は、「カクワカ島」共同代表の田中美穂さんが講演。田中さんは北九州市出身、94年生まれ。2017年に広島市で就職、ヒロシマを知ることになる。翌年夏から、核廃絶国際キャンペーン(ICAN)やサーロー節子さんの言葉に触発され、「核政策を知りたい広島若者有権者の会」(カクワカ島)を立ち上げた。講演では、与野党の国会議員に「日本は、核兵器禁止条約にどういう態度をとるのか」などを質問し報告をまとめる、ウィーン会議を傍聴し報告しデイスカッションするなど、動き始める若者たちの元気が、新しい発想や行動が感じられた。会場からも「共に活動していきたい」という発言もあった。田中美穂さんの話 「折るだけでなく具体的に行動してください」「(サーロさん)。何人かの若者が動き始めた。学生だけだと、社会人になっただけだと戸惑う。いつかやろうと思った方がいい。国会議員へのアプローチも、意見が違うと思われれば自民党、与野党にも積極的に働きかけた。入江一恵さん(92)、15歳の女学校3年のとき、高松の飛行機工場で沖繩に飛ぶ特攻機を作る板金工。少年特攻兵が弾丸の代わり、人の命はそんなに軽いのかと気づいた不条理。「戦後、自由・平和・個性などの言葉を聞き、身体中に電流が流れた」と話した。(江戸信夫)

## 声 高校生が描く「原爆の絵」

大阪・高槻で高校生が描いた「原爆の絵」展を観に行きました(8月27日)。ギャラリーに入り、最初の1枚目の絵を見て圧倒されました。原爆投下のその場にいるような臨場感のある絵だったからです。これが、原爆を体験していない高校生が被爆者から聞き取りをして描いた絵なのかと「忘れられないあの声」

どの絵も現場で被爆した人しか伝えられないような、真に迫るものだった。このような絵を、1年かけて被爆者から聞き取り、何度も打ち合わせを重ねながら作成した高校生の絵の表現力が生々しく、ずっしりとして迫ってくる。高校生が被爆者の思いを、被爆体験証言者と同じ生徒が共同し、証言者の記憶に残る被爆時の光景を高校生が絵に描き、当時の状況を伝える「原爆の絵」の製作に取り組んでいるそうです。ぜひ、多くの人に見てほしいです。(入江友子)

※「原爆の絵」基町高校で検索すれば見ることができま

連載 「復帰」50年 沖縄の旅

# わたちの『日の丸』焼き捨て事件①

あるとき読谷村で

沖縄「本土復帰50年」の中でも「歴史的な大事件」として複数のメディアも扱った1987年10月沖縄国体・読谷村ソフトボール会場の『日の丸』焼き捨て事件。このできごとは、「日の丸は国旗だ」と問題を含めて、沖縄と日本、沖縄と天皇の戦争責任、「まつろわぬ民」の問いかけ、政治的社会的な大問題となった。私



1987年10月24日、那覇市内の集会で、アピールする知花昌一さん(中央)、のぼりをもつ知花盛康さん(右)(筆者撮影)

の初め沖縄行きはこのときだった。

後退は戦争への道につながる」という知花昌一さんの熱い訴えに心を揺さぶられたからだ。そこで何がおきるかなど想像もしていなかったのだが、目の前で知花さんが「日の丸」を引きずり下ろすのを見て、衝撃の時間だった。

現在は東京都知事の池百合子が希望の党をつ

くったとき、入党条件の6番目に「外国人に地方参政権付与反対」という項目があった。在日外国人のほとんどは韓国・朝鮮人であり、その60万人に選挙権を認めないという差別的項目である。差別者・小池百合子らしい政策だ。彼女は、毎年行われる関東大震災を追悼する式典にも追悼文を送っていない。

1923年関東大震災 今から99年前の9月1日、午前11時58分、相模湾を震源とするマグニチュード7.9の巨大地震が関東地方を襲った。この地震によって家屋の倒壊や火災が発生し、約10万5千人が犠牲になっ

し、焼き捨てるのを目撃した知花盛康さんだ。その後、現場の「大混乱」のただ中にいることになってしまった。もう一人の「被告」

周知のように知花さんは起訴され、長い裁判闘争があったが、「日の丸」裁判にはもうひとり「知花さん」がいたことを読者は記憶されているだろう。同じ読谷村の農民で昌一さんの仲間であつた知花盛康さんだ。盛康さんはこの日、朝の農作業の後に会場に到着、「日の丸」強制に反対する横断幕を張って仕事に戻ろうとしたとき、突然警官に囲まれ「昌一の逃亡を助けた公務執行妨害現行犯」というでっち上げで逮捕、拘留、起訴され、93年まで6年の裁判闘争をたたくことになった(完全無罪を勝ちとる)。

8月24日に加藤友三郎

首相が死去しており、政関東一帯、3日には福島府は後任の山本権兵衛が内閣を組閣中だった。この大災害で通信手段は寸断され交通機関もマヒ状態になり、新聞の発行も困難になった。つまり関東中の人びとは、あらゆる手段で行っていたが、それ

千葉 福田村の惨劇 99年目の9月 情報から断ち切られてしまった。余震と火災が続き、救援の手が差し伸べられない不安な人びとの心に、しのび込むように流言蜚語が発生する。

自警団による虐殺 日本刀や猟銃で武装した自警団は、検問所を設け次々と人びとを尋問し、朝鮮人らしきと疑う

35年の思いを聞いた その後、私は両知花さんの公判に年に何回か行くようになり、知花艶子さん(盛康さんの妻)、知花洋子さん(昌一さんの妻)とも顔見知りになった。昌一さんの裁判は95年の2審で終了したが、訪沖の機会には会うこともあり、細く、長いおつきあいをさせていた。昔読んだ方にも再読を勧める。そして今、何を思っておられるのかと、今年6月、4年ぶりに読谷村を訪ね、たくさん話を聞かせていただいた。次回からその一部を伝えたいと思う。(山野薫(追記)この「事件」の真実は、知花昌一著『焼き捨てられた日の丸』、『燃える沖縄、揺らぐ安保』(社会評論社)に。昔読んだ方にも再読をお勧めする。

「朝鮮人放火す」という

と、国歌を歌わせたり、日、午前10時頃、香川県無視し殴る蹴る、縄で縛り上げ「利根川に放り込め」と8人を溺死させ、岸に泳ぎついた人までなぶり殺しにしてしまった。9人の犠牲者のうち一人は妊婦であったとい

日本人の中にも朝鮮人と間違われ、危うく難に逢う人もいた。俳優の千田是也(芸名/千駄ヶ谷のコリアの意)は有名だ。彼は、たまたま通りがかった友人に日本人であると告げられてしまった。しかし、福島の人びとが「朝鮮人暴動」に

被差別部落出身者が犠牲に さて、地震による混乱と自警団による朝鮮人狩りが進行していた9月6



福田村事件の犠牲者を追悼する慰霊碑(千葉県野田市)

に帰って村の人が真相を知ったのであるが、「2歳、4歳、6歳、そしてお産前の人まで殺害するような鬼のような人たちがだから、行けばまた殺される」と、福田村に抗議に行かなかった



つもやっていますね。ご苦労さまです」と。沖縄県知事選のキャンペーン、応援の色紙(写真)と共に支援に行く人に託した。

9月3日(土)三線の演奏も。映画「島守の塔」を見た人が署名。東京からの人が「沖縄によく行くが海が汚れている」と。通行人に「デニー知事に応援を」と訴えた。

玉城知事へカンパ、色紙 8月辺野古行動 8月27日(土) 神戸・三宮。親子連れから「い

この事件は日本人の朝鮮人差別が直接の原因であるが、背景に被差別部落差別も潜んでいる。売薬商人を襲った自警団は、商人たちが部落民という認識はなかったであろう。しかし、売薬行商をせざるを得なかった部落民ゆえの職業差別が存在していた。 映画化が進められている。監督は森達也さん。23年公開予定。(ごじまみちお)

論考 新自由主義と「連合」問題 ③ 掛川 徹

格差拡大に加担する連合

同じ労働者とは思えない。個人と会社の雇用関係なので、嫌なら辞めればよい。

掛川「『動けない』というのはどうでしょう。非正規雇用の同僚が切り捨てられるんだから、広い意味で職場環境の問題として組合が動くのは別にいいですか？」

書記長「職場環境を言うなら、組合が要求してやらなければならぬ。組合が要求してやらなければならぬ。組合が要求してやらなければならぬ。」

掛川「それは正社員じゃないから、組合も話聞いてくれない。合同労働組合には挨拶もしたくない。」

掛川「私は正社員じゃないから、組合も話聞いてくれない。合同労働組合には挨拶もしたくない。」

掛川「私は正社員じゃないから、組合も話聞いてくれない。合同労働組合には挨拶もしたくない。」

掛川「私は正社員じゃないから、組合も話聞いてくれない。合同労働組合には挨拶もしたくない。」

掛川「私は正社員じゃないから、組合も話聞いてくれない。合同労働組合には挨拶もしたくない。」

掛川「私は正社員じゃないから、組合も話聞いてくれない。合同労働組合には挨拶もしたくない。」

も安くなるし、年金の上乗せもできる。住宅ローンもメインバンクを通じて優遇金利が適用される。「労働組合」を名乗るから腹も立つが、正社員限定互助組織と割り切れば、連合の役割は特に否定するほどのものではない。

敗戦直後のような貧乏横一線という状況でない限り、連合内部からの民主的改組はあまり期待できない。連合労働者が労働貴族に反抗し、会社との決裂を覚悟して立ち上がるのは組合員の生活水準が平均以下に落ちる時だが、そういう事態は原

先にも触れたように、正社員の長時間労働を規制した最大の契機は遺族による裁判闘争で、労働組合はむしろ妨害要因だった。孤立した少数派の争議を長期に支えたのが職場の仲間ではなくて地域コミュニティだ

争史観の放棄が迫られていくという気がする。ここまできて、階級闘争史観からの転換

実際に、連合労働者が格差問題に関わるとすれば、自らの職場条件の改善という契機よりも、社会の存続にたいする危機感からであろう。私は世帯年収一千万を超える電機連合組合員から「日本では会社ごとに賃金を決めるので賃金格差が大き

見解を聞いて仰天したところがある。要するに、日本に産別労働組合運動が歴史的に要請されていることは間違いない。連帯ユニオン関西生コン支部にたいする激しい弾圧は、逆に産別労働運動のリアリティを示しているとも思

産別労働組合は直接の当事者たる非正規雇用労働者、未組織労働者の主体的な登場が最大の契機となるが、連合労働者の場合、階級的連帯というより地域社会の存続と防衛を契機にこの運動に合流しようのではない。従来と異なる発想と切り

口で、運動が起きる条件はあると思う。連合にたいしては、その社会的責任をたえず問いつけることで、少なくとも未組織の労働者や社会にたいして悪辣な立ち振舞はしないよう規制することが必要だろう。本音は会社組織でも建前は労働組合。あまりにも建前と違つことを批判されれば破廉恥なことではないはずだ。左翼はこれまで連合労働者に呼びかけたことがない。本音に呼びかけたらどんな答が返ってくるのか、誰にもわからない。(おわり)

口で、運動が起きる条件はあると思う。連合にたいしては、その社会的責任をたえず問いつけることで、少なくとも未組織の労働者や社会にたいして悪辣な立ち振舞はしないよう規制することが必要だろう。本音は会社組織でも建前は労働組合。あまりにも建前と違つことを批判されれば破廉恥なことではないはずだ。左翼はこれまで連合労働者に呼びかけたことがない。本音に呼びかけたらどんな答が返ってくるのか、誰にもわからない。(おわり)

関生支部へ新たな攻撃 拠点の工場プラントを破壊

関生支部弾圧をはねかえす闘いは、全国の仲間と同じフロアにいた組合書記長には挨拶もしなかつた。かといって、連合は資本の手先だから不要だとも言えない。ある組合員に言わせれば「組合がなければ自分の給料は今の八割だったかもしれないと思う」といふより「あつた方がいい」。

互助組織としての利便性も捨てたいものがある。団体割引で各種保険

互助組織としての利便性も捨てたいものがある。団体割引で各種保険

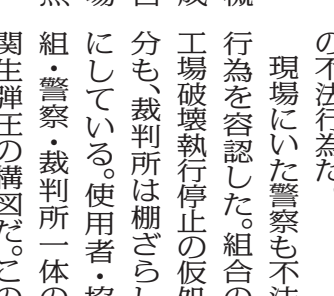
互助組織としての利便性も捨てたいものがある。団体割引で各種保険

互助組織としての利便性も捨てたいものがある。団体割引で各種保険



大阪広域協組の蛮行 大山副理事長らが拠点工場の工場設備を破壊

7月8日、大阪広域協組の大山副理事長らが拠点工場（大阪府高槻市）に押し寄せ、工場に電力を供給する配管などを破壊し、生産を中断させた。この蛮行の経緯と背景は次号で明らかにする。



大阪広域協組の蛮行 大山副理事長らが拠点工場の工場設備を破壊

6月21日、「高槻生コン」(大阪府高槻市)の工場破壊執行停止の仮処分も、裁判所は棚ざらしにしている。使用者・協組・警察・裁判所一体の関生弾圧の構図だ。この暑さの中、現場では、張り

95年、阪神大震災のとき、ダイエーやそごうなどの非正規労働者の大量解雇が行われた。そして、工場が焼け、多くの中小労働者の波といえる。(森川数馬、8月14日記)

大阪広域協組の蛮行 大山副理事長らが拠点工場の工場設備を破壊

大阪広域協組の蛮行 大山副理事長らが拠点工場の工場設備を破壊

大阪広域協組の蛮行 大山副理事長らが拠点工場の工場設備を破壊

引き続き、伊藤公雄さんの「男性学入門」から。人が多い。そうした「男の独居高齢者の実状」兵 汚券」とやらで身を滅ぼす。庫県が行った独居高齢者の意識調査がある。女性高年齢者の悩みのトップは経済問題。「女性の貧困」は格差社会のなかでますます深刻化している。

一方、男性の悩みはなんと「孤独」だ。日本男性の生活スタイルがはらむ問題だ。会社人間としてほぼ一生を過ごした男性にとって、「仕事」「肩書き」がなくなった余生の虚無感は大い。

さらに怖いデータ。60歳以上の男女で、配偶者に先立たれた場合の平均余命だ。妻に先立たれた男性の平均余命はなんと3年未満。一方、女性は約15年だ。平均寿命は女性の方が長いし、妻より夫が年上が一般的なため、男女に差があってもおかしくないが、平均余命に12年の差はあまりに大きい。米のデータでは、離婚男性の死亡率は、同じ条件の女性の3倍に上る。「男らしさ」が男性の老後に悲惨さをもたらす。今こそ男性もめざめて、精神的自立をかちとるべきでは。「妻のパンツを外で干せますか」という質問に、進んだ考えを持つ男性のなかでも「メン

ツがある」と拒否する人が多い。そうした「男のカニズムが社会現象として露出したものなのだ。優越・所有・権力」社会的犯罪として表に出ない男性の女性に対する暴力は枚挙に暇がない。「男らしさ」は次の三つの志向性として現れる。「男たるもの、知的にも精神的にも肉体的にも女に負けてはならない」という「優越志向」。それでも負けた場合には追いつめられて暴力で挽回しようとする男性がいる。男性の「所有志向」は、専業主婦の妻を家庭の外に出したくないという形で現れがちだ。共働きの妻なのに、門限を設けている夫がいる。9時が門限で、遅れると殴ることもある。ところが夫のほうは午前様でも妻から殴られることはけっしてない。理不尽に殴られた妻は憎悪をつのらせ、将来の復讐を誓う。妻が夫の定年後に離婚を申し出るのには珍しくない。「権力志向」は、妻や子どもに威張り散らして「満足」している姿に現れる。DV(ドメスティック・バイオレンス)、パワハラ、セクハラはまさにこの三つの志向性を含み体したかたちで現れるの

# 孤独に悩む男たち

— 「男性学」から考える(2) —

新・私のジェンダー考(6) 当問弓子

この本を知ったきっかけは、今年4月に大阪で行われた『食と農業の今』学習会。藤原辰史さんの講演前のあいさつで三里塚空港反対同盟の萩原富夫さんが、「面白かった本」として紹介されたことでした。

日本の農民が抱える深刻なトラクターのローン返済問題や、ロシア革命における「労農同盟」の重要テーマであった「農村におけるトラクターの普及」などが頭にあって、読んでみました。

現代社会に大きな影響を与えた発明の一つとして内燃機関(エンジン)と自動車を上げることが異議をとなえる人はほとんどいないでしょう。しかし、トラクターが人類に与えた影響の大きさを正面から論じることは、

あまりなかったのではないかと、思っています。本書(中略)この変革の担い手こそ、トラクターである。とりわけ重要なのは、牽引力のエネルギー源が、家畜の喰む飼料から土を掘り返すことである。トラクターの登場以降、農業はもはや石油なしに営むことができない。石油がなければ、わたしたちは食べもの

を確保し、生活を営むに足らぬことができない。満身に食糧を供給することができなくなったのである。

そして著者は1892年にアメリカで誕生したトラクターの発展と、世界的普及の歴史を、土壌内に空隙をつくり、保水能力と栄養貯蓄能力を高め、さまざまな生物のはたらきと食物連鎖を活性化させる。土壌の活性化は、そこに根を張る植物の食用部位を、野生植物では不可能なほど栄養価を高め容量を増やすことにつながる。この事

実は、土壌学の発展とともに科学的に裏付けられることになるが、それより遙か昔から、耕すことはずっと農業の中心に据えられてきたのだ。解説しています。

また、1923年以降のソ連におけるトラクター導入の過程も複雑で、各種のロシア革命研究文献との突き合わせの必要を感じました。スターリ

ンによる農業集団化のなかで、28年に「機械トラクターステーション(MTS)」が発足、これがコルホーズの組織化を牽引するはずでしたが、部品やメンテナンスの体制が、おいつかずクリミアの入植地では投入されたトラクターの4分の3が故障していたそうです。

29年のソ連内公式文書では、それまでの2年間にトラクターの稼働率が急激に落ち、コルホーズ全体の3分の2の耕作が馬または牛によって担われたと報告されています。最終的にはスターリンによってつくられたMTSはフルシチョフによって解散となりました。

コルホーズの破産についてはレーニン死後のことであり、どこまでを彼の責任とするべきは議論のあるところですが、今日の的に振り返るとレーニ

ンが19年3月の第8回党大会で行った演説はあまりに楽観にすぎたと言わざるを得ないと思えます。トラクター工場が戦車工場に変わるだけでなく、「もし明日われわれが10万台の第一級のトラクターを供給し、トラクターに燃料と運転手を与えることができるならば、これは現段階ではま

ぎれもない空想である」とはご承知の通りだが、中規模農家はこういうだろう。「わたしは共産主義に賛成する」と。

最後に軍需産業としてトラクターという重要な指摘を紹介。本書ではおもにキャタピラー付きトラクターが兵器である戦車の基礎というか、ほ

お尻からへたに割り箸を通し、穴を開けて焼くと余分な水分が抜け、美味しくなりますよ。皮はパリパリに焼けば、揉むと簡単にとれます。カツオ節で美味しさがぐんとアップです。(淡)

## 『トラクターの世界史』

藤原辰史・著  
歴史を変えた「鉄の馬」たち  
中公新書2017年860円(税別)

## 史上3度目のエンクロージャー

「種を蒔く前に土を掘り返す。耕すことで収穫物の量と質が改善されることを、農業を営む人びとは経験的に知っていた。土を耕す行為は、土壌の下部にある栄養を上部にもたらし、土壌内に空隙をつくり、保水能力と栄養貯蓄能力を高め、さまざまな生物のはたらきと食物連鎖を活性化させる。土壌の活性化は、そこに根を張る植物の食用部位を、野生植物では不可能なほど栄養価を高め容量を増やすことにつながる。この事

### 世界的発明

現代社会に大きな影響を与えた発明の一つとして内燃機関(エンジン)と自動車を上げることが異議をとなえる人はほとんどいないでしょう。しかし、トラクターが人類に与えた影響の大きさを正面から論じることは、

実は、土壌学の発展とともに科学的に裏付けられることになるが、それより遙か昔から、耕すことはずっと農業の中心に据えられてきたのだ。解説しています。

### ソ連MTSの破産

特に私が強い衝撃を受けたのが、レーニン時代からのソ連におけるトラクターの導入と拡大についての部分でした。筆者は、ドイツのカール・カウツキーの農業理論をお



三里塚「産直野菜」は有機無農薬。毎週・隔週、「お試しセット」あり。  
【お問い合わせ】  
TEL/0799-72-5242  
E-mail/kanjitsu\_mail@yahoo.co.jp

ンが19年3月の第8回党大会で行った演説はあまりに楽観にすぎたと言わざるを得ないと思えます。トラクター工場が戦車工場に変わるだけでなく、「もし明日われわれが10万台の第一級のトラクターを供給し、トラクターに燃料と運転手を与えることができるならば、これは現段階ではま

最後に軍需産業としてトラクターという重要な指摘を紹介。本書ではおもにキャタピラー付きトラクターが兵器である戦車の基礎というか、ほ

お尻からへたに割り箸を通し、穴を開けて焼くと余分な水分が抜け、美味しくなりますよ。皮はパリパリに焼けば、揉むと簡単にとれます。カツオ節で美味しさがぐんとアップです。(淡)



トガシさんの「沖縄便り」④

### 辛いときはいつでも

なんとも意気が上がらない、今の辺野古の報告も加わっています。従来ない、今の辺野古の報告の海上行動、安和、塩川に加え、県の埋め立て不承認による国の裁判、海上行動のメンバーに海保が大怪我をさせたことに対する裁判、辺野古・大浦湾沿岸住民による国交省裁判の不当を訴える裁判があります。遺骨まじりの土砂採掘問題も、くすぶっています。

意気が上がらないのは、コロナのため制約をかけられたことです。参加者が少なくなりましたが、それでも「一秒でも工事を遅らせよう」「そのうちに状況が変わる」と信じて、闘っています。状況の変化のうち、速効性のあるのは国政選挙ですが、その可能性はまだまじりません。

増える闘いの現場 辺野古では、美謝川切り替え工事作業ゲート前木曜日(10日)の県民

行動を提起しましたが、ほとんどコロナのためつぶれました。

しょぼい闘いのなか、知事選を迎えました。意気があがるよう、9月3日に那覇で県民大会を開くことを計画し、新聞チラシとして告示する算段でしたが、なんと何年ぶりかで台風が沖縄本島近くを通ると、3日は吹っ飛びました。

意気が上がらない上、私はこの1カ月間の間に辺野古で闘う知人を3人、亡くしました。1人はガンを患いながら、古書店を生業とし闘ってきた女性。1人は詩人、最近季刊誌『赤木』を発行し、それで抗った我が先輩。80歳半ばで倒れました。

### 前県議会議長の死

3人目は、県議会議長を務めた新里米吉。彼とは4年間、教職員組合で一緒に仕事をしました。私より4歳ほど年下でしたが、私よりはるかに運動、政治をよく理解し、意見が違えばグループとも話ができる人物でした。そんな能力があり、県議会議員として嘱望されたのは当然の流れでした。



月桃の花

た。彼の議員としての活動で記憶に残るのはオール沖縄として、革新と言われた人を説得し、保守だった翁長さんを守った翁長さんをかっさ出したことです。県民投票の時、保守の首長は投票を嫌がりましたが、投票の選択肢を2択から3択に替え自民を説得し、なんとほぼ全県投票に持って行ったこと。さらに翁長知事が病にたおれ、後継者が苦しんでいたとき、玉城デニーを知事候補に、当選させたことが思い出されます。

引っぱり出され、デニーの活動で記憶に残るのはオール沖縄として、革新と言われた人を説得し、保守だった翁長さんを守った翁長さんをかっさ出したことです。県民投票の時、保守の首長は投票を嫌がりましたが、投票の選択肢を2択から3択に替え自民を説得し、なんとほぼ全県投票に持って行ったこと。さらに翁長知事が病にたおれ、後継者が苦しんでいたとき、玉城デニーを知事候補に、当選させたことが思い出されます。

言論を武器で封じるのくそのとおり。それに、許せない、許してはいけなけれど、その後のアベ持ち上げは、なんだ！ 在任中、どれだけ民主主義を壊したんだ！ モリ・カケ・サクラで国民を欺き、国費を私物化し、憲法に風穴をあける「戦争法」を通し、罪なら山ほどある。

### 軍備を増やそうという人よ

戦争を見ている、なんて死ぬ覚悟があるなら、そこから軍備の話をしてあげよう。武器の積み上げで戦争が泥沼化しているんだ。死ぬのは「あなた」じゃないの？ 世界は、死ぬ覚悟で何を守るのか。愛国心という

フレディを送るべき。その視点は大新聞には見られない。(よ) / 『国葬』によるコロナ禍拡大の記事、介護現場の切迫した状況が伝わってきた。「国葬」の強行はあり得ない。説得力があった。(た) / 言えないが、女性を物のように商品のように扱う社会。自らも社会も変えなければ。(ち) / 朝日川柳の表現問題を知り、批判を認めない「全体主義」的の社会に近づいているのか。いつの時代も批判は大切。メディアはしっかりしてほしい。(な) / 扇状地に共感。ヒロシマ・ナガサキへの招待状、ロシアへの

### まい・しよっと (35)



雑木の茂る公園に小さな明神が祀られている。鎮守の森の氏神様なのだろう。宗教とかいうのではなく、手を合わせ自分の気持ちを落ち着かせ、祈る。それだけである。白雲大明神という旗、明神の字に穴があき破れている。

(明石市内 9月上旬 撮影 pot)

五十年前の映画 極寒のロシアを軍行し雪の上に倒れた男の足を担いで引きずり生き返らせ男を救った女 帰って来ない男を探し回った女 愛は引き裂かれて戻らなかった 侵略し眼を撃ち抜き 縛り付け犯す兵士 繰り返される戦争の 冷血な指揮者を葬り去れ アカシアの花の匂いに包まれ 蜂蜜をつくるミツバチを飼いながら 村で暮らしていた男はどうしているか ミツバチは銃撃の音を怖がるという

渡辺信雄

あんな終わり方ではなく、国会の場で真実の前に垂れ伏すべきだった。それを「国葬」！ なんてやることか！ 甲意は内心の自由に係わることであり、国家が強制するものではないと言った覚悟も、小手先の武器の応援ではなく、そのエネルギーを